

令和3年度温室効果ガス排出状況・削減状況集計表  
 令和3年度(2021年度) CO<sub>2</sub>排出量(施設分類別、エネルギー別)

(単位:t-CO<sub>2</sub>)

施設分類	電力	都市ガス	LPガス	A重油	軽油 (車両以外)	灯油	軽油 (車両)	ガソリン	車の走行	合計
①行政施設	723	345	0	0	0	2	0	0	0	1,070
②文化施設	1,156	267	0	0	0	25	0	0	0	1,449
③福祉施設	763	265	60	0	0	0	0	0	0	1,087
④スポーツ施設	353	0	0	0	0	0	0	0	0	353
⑤学校施設	1,554	537	59	0	0	20	0	0	0	2,170
⑥消防施設	249	43	0	0	0	0	0	0	0	292
⑦一般廃棄物処理施設	104	107	2	20	0	103	0	0	0	336
⑧公園施設	60	13	0	0	0	1	0	1	0	75
⑨下水道施設	321	0	2	89	1	0	1	0	0	413
⑩その他施設	819	0	0	0	0	0	85	212	6	1,123
小計	6,102	1,576	122	109	1	150	86	214	6	8,366
合計	8,366									

端数処理の関係上、小計及び合計が一致しないことがあります。  
 ※車の走行によるCO<sub>2</sub>排出量は、走行距離に応じて発生する(燃料の燃焼による)CH<sub>4</sub>排出量、N<sub>2</sub>O排出量に地球温暖化係数を乗じて算出したものです。

令和3年度(2021年度)エネルギー使用量

施設分類	電力 [kWh]	都市ガス [m <sup>3</sup> ]	LPガス [m <sup>3</sup> ]	A重油 [L]	軽油 (車両以外) [L]	灯油 [L]	軽油 (車両) [L]	ガソリン [L]
①行政施設	1,923,041	159,069	0	0	85	648	0	0
②文化施設	3,052,775	123,152	0	0	0	10,000	0	0
③福祉施設	1,964,205	121,875	9,097	0	0	0	0	0
④スポーツ施設	867,944	0	0	0	0	0	0	0
⑤学校施設	4,164,398	247,404	8,989	0	0	7,959	0	0
⑥消防施設	629,998	19,619	0	0	0	0	0	0
⑦一般廃棄物処理施設	5,664,262	49,199	322	7,400	18	41,176	18	144
⑧公園施設	145,962	5,929	37	0	0	292	0	470
⑨下水道施設	15,417,405	98	260	32,827	346	0	346	0
⑩その他施設	1,832,369	3	0	0	130	0	32,736	91,416
合計	35,662,359	726,348	18,705	40,227	579	60,075	33,100	92,030

事務事業編に基づく各施設分類別の温室効果ガス削減目標達成状況

施設分類	2013年度 温室効果ガス 排出量	2030年度 目標排出量	2030年度 目標削減 率	2021年度 排出量実 績	現在の 削減率	目標への 進捗率	達成/ 未達成
①行政施設	1,448	625	56.8%	1,070	26.1%	46.0%	未達成
②文化施設	2,303	667	71.0%	1,449	37.1%	52.3%	未達成
③福祉施設	1,246	914	26.6%	1,087	12.8%	48.1%	未達成
④スポーツ施設	835	589	29.5%	353	57.8%	195.8%	達成
⑤学校施設	2,427	1,773	26.9%	2,170	10.6%	39.4%	未達成
⑥消防施設	399	256	35.8%	292	26.9%	75.2%	未達成
⑦一般廃棄物処理施設	3,234	1,340	58.6%	336	89.6%	152.9%	達成
⑧公園施設	134	44	67.2%	75	43.9%	65.3%	未達成
⑨下水道施設	8,255	5,778	30.0%	413	95.0%	316.6%	達成
⑩その他施設	1,335	934	30.0%	1,123	15.9%	53.1%	未達成
合計	21,616	12,920	40.2%	8,366	61.3%	152.5%	達成

令和3年度温室効果ガス排出量(基礎排出係数):8,366t-CO<sub>2</sub>

温室効果ガス排出量の算定方法は環境省が策定した「地方公共団体実行計画(事務事業編)策定・実施マニュアル(算定手法編)」に基づいており、排出量の算定には電気の供給を受けた電気事業者毎の基礎排出係数(※1)を用いて算出しています。この場合、電気の使用によるCO<sub>2</sub>排出量は、6,102t-CO<sub>2</sub>となります。

令和3年度温室効果ガス排出量(調整後排出係数):5,645t-CO<sub>2</sub>

(基礎排出計数と比べ▽2,721t-CO<sub>2</sub>)

電力の算定において、基礎排出係数ではなく、電気メニュー毎の調整後排出係数(※2)を用いた場合、電気の使用によるCO<sub>2</sub>排出量は3,381t-CO<sub>2</sub>となります。

※鎌倉市では、令和3年2月から市役所本庁舎や小中学校などの高圧受電施設57施設について、再生可能エネルギー100%の電気に切替えています。この電気は温室効果ガスを排出しないことから、この57施設分の令和3年分の電気使用量は11,362,888kWhで全施設の電気使用量の30.9%となりますが、調整後排出係数を用いるとこの57施設分のCO<sub>2</sub>排出量は0t-CO<sub>2</sub>となります。

※1基礎排出係数:電気の発電に伴う燃料の燃焼により排出された二酸化炭素の量を、当該電気事業者が供給(小売り)した電力量で除して算出した係数。契約内容に関わらず電力事業者毎に固定。

※2調整後排出係数:発電に伴い排出した二酸化炭素の量に、非化石証書等の環境価値を反映させた後の係数。電力事業者毎の販売電力メニュー毎に数値が異なる。